

暮らしを支える

ワーカーズコレクティブで働く

NPO法人ACT小平らいふえいど

鈴木紀子さん

取材・文・撮影/谷原裕子、鳥羽綾子



ワーカーズコレクティブの働き方を1枚の写真で表わすとしたらコレ。運営については、みんなできごとん話し合います。鈴木さんと一緒に働く新事務局長の中田登美枝さんは、精神に障がいのある方の生活支援に多く携わり、その人の生活が成り立っていくように支える仕事をしてきました。「根気がいるが、やりがいがある仕事です」とのこと。

ワーカーズコレクティブとは

会費を払い、働くだけではなく団体の運営にも参加。活動の停滞を防ぐため、理事をみんなが引き受けるきまりになっていて、雇う一雇われる関係ではなく、対等な立場で責任・義務を引き受ける働き方です。

らいふえいど

平成12年(2000)に法人格を取得した介護保険制度の事業所。家事支援や生活支援などの自立支援サービスを行い、「ワーカーズコレクティブ」の働き方を取り入れています。助ける⇒助けられる⇒助けてもらったから助ける、というようにまわっていき、住みよい豊かなまちづくりにつながっていきます。また、らいふえいどは、同じワーカーズコレクティブの「ACT(アクト/NPO法人アビリティクラブたすけあい)」という団体に属しています。アクトは「赤ちゃんからお年寄りまで、ハンディを持つ人も、住み慣れたまちで自分らしく暮らせるように、地域で助け合いの仕組みづくりの活動」をしています。

小平市学園東町2-4-16 ネクスサビル102
042-348-0376
http://www3.ocn.ne.jp/~life_aid/

ヘルパー2級の資格をとったばかりの鈴木さんは、らいふえいどのリーフレットにある「いっしょに働きませんか」という言葉に魅かれて入会しました。らいふえいどは介護保険制度の事業所となるために法人化し、鈴木さんは理事として10年以上も働き続けてきました。長く働くことができた理由を尋ねると、答えは出ないと前置きしながら、「現場に出て喜んでもらえると、自分も生かされていると感じます」とおっしゃいました。また、「らいふえいどに関わってよかったと思える一瞬一瞬があるから」とも。鈴木さんにとって「働く」とは、「傍(はた)が楽(らく)になること」だそうです。「今までの活躍を生かしながら、困っている方を訪問したり、誰もがやってきてのんびりできる居場所も作りたいな」と思っているそうです。